

天誅組160年記念連続講座

天誅組の運命を変えた「八月十八日の政変」～背景とその影響～

問 歴史博物館 (☎63-6100)

天誅組の運命を大きく変えることとなった八月十八日の政変をテーマに、幕末史を専門とする研究者たちによる連続講座を開催します。

イントロダクション講座「天誅組と刈谷からの参加者」

時 12月2日(土) 10時～11時

講 山田孝氏 (市文化財保護審議会会長)

第1回 文久三年中央政局と薩摩藩-八月十八日政変を中心に-

時 12月2日(土) 14時～15時30分

講 町田明広氏 (神田外語大学教授)

第2回 長州藩家臣にとっての「八月十八日の政変」

時 12月10日(日) 14時～15時30分

講 重田麻紀氏 (慶應義塾大学文学部古文書室研究員)

第3回 攘夷運動を見聞した人々-八月十八日の政変前後の京都民衆と情報-

時 12月16日(土) 14時～15時30分

講 吉岡拓氏 (明治学院大学准教授)

【共通】

場 歴史博物館講座室 定 70人

申 11月15日(水)までに、QRまたは申込用紙 (歴史博物館で配布、市HPでダウンロード可) を郵送、FAX (63-6108) または直接、歴史博物館 (〒448-0838 逢妻町4-25-1) へ。

※申込多数の場合は抽選し、結果は全員に連絡します。



▲天誅組総裁 松本奎堂



水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念事業

スマホをかざすと、かつての姿がCGでよみがえる。 「再現！刈谷城」(刈谷城AR)

刈谷城は、江戸時代の頃から刈谷の政治・経済の中心地でしたが、明治時代に廃城となり、櫓や石垣などの建造物は、ほとんど解体されてしまいました。そのため現在の刈谷城跡 (亀城公園) から当時の姿を知ることは難しくなっています。そこで、AR (拡張現実) の技術を使って、当時の姿を再現しました。ARスポットを巡って、よみがえった姿を楽しみましょう。

◆ARスポット1～3

案内看板にあるQRコードを読み取り、かつなりくんのイラストにスマホをかざすと、その場所から見た正徳期 (1711～1716) ごろの刈谷城の様子を再現したCGが表示されます。

◆記念撮影スポット4

刈谷城ARのチラシ (歴史博物館で配布) に記載されたQRコードを読み取り、歴史博物館入口の看板にスマホをかざすと、かつなりくんが表示され、一緒に記念写真を撮影することができます。

【注意事項】

インターネットへの接続が必要で通信費用は利用者負担です。

問 歴史博物館 (☎63-6100) ID 1014367

